

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実績及び効果検証結果

| No | ①事業名 | ②事業概要 (目的・効果) | ③事業対象者 | ④事業実績 | ⑤効果・検証 | 事業 始期 | 事業 終期 | 総事業費 (円) | うち交付金 充当額 (円) |
|----|--------------------|--|--------------|--|--|----------|----------|-------------|---------------------|
| 1 | 必需物品供給事業 | 新型コロナウイルス感染症の拡大防止等に必要な物資を購入 | 町内の公共施設等 | 購入物品 アルコール消毒液 自動検温器 自動消毒器 等 | 新型コロナ感染症対策のための消耗品や備品を整備し、感染拡大を防止できた | R4.5 | R5.2 | 2,460,400 | 2,000,000 |
| 2 | 健診予約WEB化事業 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、WEBでの健診予約システムを導入 | 健診対象者 | R4.4月より住民健診のWEB予約サービスを開始 | 役場に来なくても手続きでき、窓口等での接触を必要最小限減らすことで感染拡大を防止し、情報を見える化することで町民サービスを向上させた | R4.4 | R4.5 | 550,000 | 550,000 |
| 3 | 図書除菌機購入事業 | 新型コロナウイルス感染症の拡大を防止し、利用者に安心して図書を貸出できるよう図書除菌機を購入 | 図書館利用者 | 購入物品 図書除菌機 4台 | 町立図書館および3つの分館に除菌機を設置し、図書の除菌を行うことで感染拡大防止が図られた | R4.5 | R4.6 | 1,168,640 | 1,168,000 |
| 4 | 小中学校修学旅行キャンセル料補填事業 | 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、修学旅行を中止した場合に、保護者の経済的な負担軽減を図るため、発生するキャンセル料等を支援 | 町内小中学校生徒の保護者 | キャンセル料支払実績 小学校 8校 104,900円 中学校 4校 296,495円 | キャンセル料を支援することで保護者の負担軽減が図られた | R4.4 | R4.12 | 401,395 | 401,000 |
| 5 | WEB会議環境整備事業 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ICTを活用したWEB会議の環境を整え、議会や庁内会議等のペーパーレス化、テレワーク化を推進し、事務の効率化と経費削減を図る | 越前町 | タブレット購入数 23台 (テレワーク等対応設定済) | 職場における密回避ができ、濃厚接触者など感染の疑いがある職員については、テレワークを行うことで、感染防止に効果があった | R4.6 | R5.3 | 10,255,808 | 10,255,000 |
| 6 | 公共施設トイレ再整備事業(その1) | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、公共施設の手洗い場の洋式化を進め、接触感染リスクや飛沫感染リスクの低減を図る | 越前町 | トイレ洋式化施設 町内保育所 2施設 | 接触機会を減らすことで、施設の感染症対策を強化することができた | R4.8 | R5.2 | 1,661,000 | 1,661,000 |
| 7 | 公共施設トイレ再整備事業(その2) | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、公共施設の手洗い場の洋式化を進め、接触感染リスクや飛沫感染リスクの低減を図る | 越前町 | トイレ洋式化施設 越前コミュニティセンター | 接触機会を減らすことで、施設の感染症対策を強化することができた | R4.12 | R5.3 | 1,716,000 | 1,716,000 |
| 8 | 公共施設トイレ再整備事業(その3) | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、公共施設の手洗い場の洋式化を進め、接触感染リスクや飛沫感染リスクの低減を図る | 越前町 | トイレ洋式化施設 越前町生涯学習センター 朝日多目的ホール | 接触機会を減らすことで、施設の感染症対策を強化することができた | R4.11 | R5.2 | 10,615,000 | 10,615,000 |
| 9 | 公共施設トイレ再整備事業(その4) | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、公共施設の手洗い場の洋式化を進め、接触感染リスクや飛沫感染リスクの低減を図る | 越前町 | トイレ洋式化施設 町内体育施設 9ヶ所 | 接触機会を減らすことで、施設の感染症対策を強化することができた | R4.9 | R5.3 | 16,634,640 | 16,634,000 |

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実績及び効果検証結果

| No | ①事業名 | ②事業概要 (目的・効果) | ③事業対象者 | ④事業実績 | ⑤効果・検証 | 事業 始期 | 事業 終期 | 総事業費 (円) | うち交付金 充当額 (円) |
|----|--------------------|---|-----------------------------|---|--|----------|----------|-------------|---------------------|
| 10 | 保育料減免事業 | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休業した保育所に通う園児の保育料を減免し、家庭保育を行う園児の保護者を支援 | 町内保育園児の保護者 | 保育料減免件数 257件 | 保育料を減免し自主休園を促すことで、新型コロナウイルス感染症の感染抑制につながるとともに、保護者の負担を軽減した | R4.4 | R5.2 | 1,068,070 | 1,068,000 |
| 11 | 農業肥料高騰対策支援事業 | コロナ禍により農家経営への影響が危惧される中、高騰する肥料の購入費用を緊急的に支援し、農業経営の安定化を図る。 | 町内農業者 | 補助額 水稲 15,810,900円 水稲以外の作物 1,703,500円 委託料 577,500円 | コロナ禍による物価高騰下で肥料コストの上昇分を支援することで、営農を継続することができた | R4.7 | R5.3 | 18,091,900 | 18,091,000 |
| 12 | 「えちぜんちょう割」クーポン発行事業 | 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、売上が減少した商店等を支援するため、福井県が実施している「ふく割アプリ」を活用して「えちぜんちょう割（電子クーポン）」を発行し、町内における消費活動の活性化を図る。 | 町内小規模事業者 | 1500円以上の買い物で500円割引 クーポン利用枚数 62,769枚 クーポン対象店舗 118店 | コロナ感染対策を実施した町内飲食店や小売店を支援することができ、町民の個人消費を喚起することができた | R4.5 | R5.3 | 35,281,617 | 35,281,000 |
| 13 | カーニバルクーポン発行支援事業 | コロナ禍により、町内を訪れる観光客が激減し、危機的状況にある旅館や民宿を支援するため、越前町観光連盟が実施する「宿泊クーポン券発行事業”カーニバルクーポン”」を補助 | 町観光連盟に所属する旅館、民宿等 | 3000円のデジタルクーポンを2000円で販売 クーポン利用枚数 6,894枚 使用率 98.4% クーポン対象店舗 71店 | コロナ禍により低迷していた宿泊業者を支援でき、観光利用促進の効果が得られた | R4.5 | R5.3 | 8,461,665 | 8,461,000 |
| 14 | 地元商店街等緊急支援事業（その1） | 新型コロナウイルス感染症の影響により売上げが減少している飲食業、宿泊業を営む事業者の緊急支援と町内における消費を喚起することを目的にプレミアム商品券を発行 | 町内全世帯 | ①旅館・民宿・料亭 1セット10000円分を5000円で販売 販売枚数4000セット 使用率 99.2% ②飲食店 1セット5000円分を2500円で販売 販売枚数 3157セット 使用率 98.4% | 新型コロナウイルス感染症の影響が大きい飲食業等のみで使える商品券を発行したことで、落ち込んだ飲食店経済の回復および消費喚起に寄与した | R4.7 | R5.3 | 31,157,382 | 31,157,000 |
| 15 | 地元商店街等緊急支援事業（その2） | 新型コロナウイルス感染症の影響により売上げが減少している飲食業、宿泊業を営む事業者の緊急支援と町内における消費を喚起することを目的に「えちぜん輝きクーポン」を発行 | 町内全世帯 | 1000円以上の買い物で300円のクーポンを発行 利用枚数 78,228枚 使用率 81.5% 利用店舗 164店 | 町内の店舗で発行し町内の店舗で利用することでリピーター獲得につながり、コロナ禍で落ち込む消費の喚起を行うことができた | R4.7 | R5.1 | 24,651,000 | 24,651,000 |
| 16 | 高齢者生活応援商品券発行事業 | コロナ禍において物価高騰に直面するた65歳以上の町民に対する生活支援のため、町内店舗で利用できる商品券を発行 | 町内65歳以上の高齢者 (基準日：R4.4.1) | 65歳以上の町民に一人あたり3000円の商品券を配布 使用枚数 40,839枚 使用率 95.9% | コロナ禍での物価高騰の影響により、経済的に困窮している高齢者世帯の生活支援を行うことができた | R4.6 | R5.1 | 24,387,167 | 24,387,000 |
| 17 | 越前焼PR動画作成事業 | 新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりオンライン形式の商談・展示会が目目されるなか、販路拡大を図ることを目的に越前焼をPRする動画作成等の費用を補助 | 越前焼工業協同組合に加盟している窯元 | 動画作成窯元 22件 | 窯元の販路拡大が図られるとともに越前焼の産地としてのPRにつながった | R4.6 | R5.1 | 2,330,000 | 2,330,000 |

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実績及び効果検証結果

| No | ①事業名 | ②事業概要 (目的・効果) | ③事業対象者 | ④事業実績 | ⑤効果・検証 | 事業 始期 | 事業 終期 | 総事業費 (円) | うち交付金 充当額 (円) |
|----|-----------------------------|--|----------------------------------|--|--|----------|----------|-------------|---------------------|
| 18 | 景観まちづくり フォトコンテスト 開催事業 | アフターコロナの観光需要を見据え、観光の町「越前町」を広く情報発信する フォトコンテストを開催 | 越前町 | 応募件数 写真の部 118件 インスタグラムの部 127件 | 越前町の持つ自然や文化的景観、まちなみを広くPRすることができ、シビックプライドの醸成に寄与した | R5.2 | R5.3 | 426,800 | 426,000 |
| 19 | 学校給食費物価 高騰対策事業 | コロナ禍における物価高騰による燃料費、給食賄材料費を支援し、保護者の負担軽減を図る | 町内在住の小中学生 | 事業費 5,105,000円 町内小中学校 12校 | 町内小中学校に通う児童生徒の世帯の家計負担の軽減が図られ、学校給食の量と質の安定供給につながった | R4.4 | R5.3 | 5,105,000 | 5,105,000 |
| 20 | 保育所副食材料 費物価高騰対策 事業 | コロナ禍における物価高騰による副食賄材料費を支援し、保護者の負担軽減を図る | 町内在住の保育児童 | 事業費 1,254,888円 町内保育所等 12施設 | 町内保育所等に通う児童の家計負担の軽減が図られた | R4.9 | R5.3 | 1,254,888 | 1,254,000 |
| 21 | 防災支援事業 (その1) | 大規模災害等の避難所開設時において、テントにより間仕切ることによって新型コロナウイルス感染症の感染リスクの低減を図る | 越前町 | 購入物品 簡易テント 物資保管庫 等 | 災害時の新型コロナウイルス感染症対策が図られ、避難者の安心・安全に寄与することができた | R4.10 | R4.11 | 6,639,600 | 6,639,000 |
| 22 | デマンドタク シーを活用した 外出支援事業 | コロナ禍における外出支援と生活支援を目的に、デマンドタクシー“チョイソコえちぜん”の利用者に対し、越前町商工会商品券(3,000円分)を進呈 | デマンドタクシー利用者 | キャンペーン対象者 41名 | 高齢者の外出支援とデマンド交通の理解促進に大きく寄与した | R4.11 | R4.12 | 137,544 | 137,000 |
| 23 | キャッシュレス 決済対応レジ購 入事業 | 新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、各住民サービス室窓口にキャッシュレス決済対応レジを導入 | 越前町 | 導入施設 宮崎・越前・織田住民サービス室 | 非接触型のQRコード決済を推奨することで感染対策を強化でき、DXの普及・推進に寄与した | R4.10 | R4.10 | 191,400 | 191,000 |
| 24 | 妊婦世帯臨時特 別給付金事業 | 妊婦が副作用の心配から薬を投与しづらいなどの不安があることに配慮し、感染リスクを下げる対策の経済負担に対し町独自に給付金を支給することで妊婦の生活を支援 | 令和4年4月1日から令和5年2月28日までに妊婦届を受理した妊婦 | 妊婦一人あたり 30,000円支給 支給妊婦数 156人 | 妊婦の経済的負担の軽減が図られた | R4.6 | R5.3 | 4,728,640 | 4,728,000 |
| 25 | 券売機購入事業 | 新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、越前町地域福祉センター「なぎさの湯」に券売機を導入 | 越前町 | 購入物品 入浴券売機 1台 | 券売機を導入し、接触機会を減らすことで感染拡大防止に寄与した | R4.7 | R4.8 | 968,000 | 968,000 |
| 26 | 教育旅行体験施 設環境整備事業 | 越前町観光連盟が管理する教育旅行体験施設「おととLabo」に手洗い等のコロナ感染対策として施設内給排水設備の整備や密を避けるために必要なテントを購入し環境整備を支援 | 越前町観光連盟 | 教育旅行体験施設「おととLabo」 給排水整備、トイレ新設 テントの購入 | 教育体験施設における感染症拡大防止策の強化を図ることができた | R4.6 | R5.3 | 18,414,164 | 18,414,000 |

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実績及び効果検証結果

| No | ①事業名 | ②事業概要 (目的・効果) | ③事業対象者 | ④事業実績 | ⑤効果・検証 | 事業 始期 | 事業 終期 | 総事業費 (円) | うち交付金 充当額 (円) |
|----|------------------------|--|-----------------------|--|--|----------|----------|-------------|---------------------|
| 27 | 漁業資材高騰対策支援事業 | コロナ禍による原材料の需要増等により資材（魚箱）の価格が高騰しているため、町内の漁業者に対し資材購入費用の一部をに補助し、漁業経営の安定化を図る | 越前町漁業協同組合の正組合員 | 魚箱の価格上昇分の10/10を補助 対象期間 R4.1~12月末まで 補助件数 70件 補助対象 町漁協の正組合員 | コロナ禍による物価高騰下で資材コストの上昇分を補助することで、漁業経営を支援することができた | R4.9 | R5.2 | 5,120,610 | 5,120,000 |
| 28 | 学校給食費減免事業（重点分） | コロナ禍において、エネルギー・食料品等の物価高騰の影響を受けている子育て世代を支援するため、小中学校の第3学期分の給食費を減免し、保護者の経済的負担の軽減を図る | 町内在住の小中学生 | 給食費減免費用 18,897,363円 町内小中学生数 1,600人 | 町内在住小中学校生を持つ子育て世帯の家計負担の軽減が図られ、学校給食の量と質の安定供給につながった | R5.1 | R5.3 | 7,484,000 | 7,484,000 |
| 29 | 防災支援事業（その2） | 大規模災害等の避難所開設時において、空気清浄機の導入により新型コロナウイルス感染症の感染リスクの低減を図る。 | 越前町 | 購入物品 空気清浄機 | 災害時の新型コロナウイルス感染症対策が図られ、避難者の安心・安全に寄与することができた | R5.1 | R5.2 | 2,250,000 | 2,250,000 |
| 30 | 地域公共交通等運行継続支援事業 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、経営に大きな影響が生じている地域交通事業者に対し、運行にかかる経費等を支援 | 公共交通事業者 | 生活交通路線維持補助金（運賃減収分） 5,608,000円 福井鉄道 4路線 京福バス 2路線 | 補助金を支給することで、コロナ禍で売り上げが減少している公共交通事業者の事業継続を支援することができた | R5.3 | R5.3 | 5,608,000 | 5,608,000 |
| 31 | 公共施設トイレ再整備事業（その5） | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、公共施設の手洗い場の自動水栓化、洋式化を進め、接触感染リスクや飛沫感染リスクの低減を図る | 越前町 | トイレ洋式化施設 宮崎農村改善センター | 接触機会を減らすことで、施設の感染症対策を強化することができた | R4.6 | R4.10 | 429,000 | 429,000 |
| 32 | 公共施設トイレ再整備事業（その6） | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、公共施設の手洗い場の自動水栓化、洋式化を進め、接触感染リスクや飛沫感染リスクの低減を図る | 越前町 | トイレ洋式化施設 樹香苑 | 接触機会を減らすことで、施設の感染症対策を強化することができた | R4.12 | R5.3 | 946,000 | 946,000 |
| 33 | 漁業者事業継続支援事業（定置網急潮被害対策） | コロナ禍の中で、物価高騰の影響を受けている漁業者に対して定置網の整備・修繕に係る費用の一部（資材等高騰相当分）を補助し、漁業事業者を支援 | 町内漁業者 | 定置網急潮被害緊急事業補助金 104,291,000円 支援対象 小樽定置網組合、米ノ定置網組合 | 急潮の被害を受けた漁網・漁具の復旧にかかる資材高騰分を支援することで、漁業者の経営の安定化が図られた | R5.1 | R5.9 | 20,000,000 | 20,000,000 |
| 34 | 子育て世帯応援給付金事業 | コロナ禍において、エネルギー・食料品等の物価高騰の影響を受けている子育て世帯を支援するため、児童手当を受給する世帯（0歳～中学生のいる世帯）に対し、給付金を支給 | 児童手当受給対象児童（R4.11.1時点） | 支給対象児童数 0歳 @50,000円×97人 1~15歳 @20,000円×2,200人 | 児童手当を受給する世帯に対し、給付金を支給することで、物価高騰の影響を受ける子育て世帯の経済低負担を軽減した | R5.1 | R5.3 | 49,080,251 | 48,391,000 |

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実績及び効果検証結果

| No | ①事業名 | ②事業概要 (目的・効果) | ③事業対象者 | ④事業実績 | ⑤効果・検証 | 事業 始期 | 事業 終期 | 総事業費 (円) | うち交付金 充当額 (円) |
|----|----------------------------|---|-----------------|------------------------------------|---|----------|----------|-------------|---------------------|
| 35 | 指定管理保育所等原油価格・物価高騰対策事業 | コロナ禍の中で、物価高騰に伴い光熱費等に影響を受けている町内の指定管理保育所等に対して高騰分を支援 | 町内の指定管理保育所 | 支援金額 402,000円 支援保育所数 3施設 | コロナ禍における物価高騰の影響を受ける中、価格転嫁することも難しい事業者を支援することで、安定的な保育サービスの提供に繋げることができた | R4.12 | R5.3 | 402,000 | 402,000 |
| 36 | 私立保育園等原油価格・物価高騰対策事業 | コロナ禍の中で、物価高騰に伴い光熱費等に影響を受けている町内の私立保育園等に対して高騰分を支援 | 町内の私立保育園等 | 支援金額 1,350,000円 支援保育所数 5施設 | コロナ禍における物価高騰の影響を受ける中、価格転嫁することも難しい事業者を支援することで、安定的な保育サービスの提供に繋げることができた | R4.12 | R5.2 | 1,350,000 | 1,350,000 |
| 37 | 障害福祉サービス事業所等の原油価格・物価高騰対策事業 | コロナ禍の中で、物価高騰に伴い光熱費等に影響を受けている町内の障害福祉サービス事業所等に対して高騰分を支援 | 町内の障害福祉サービス事業所等 | 支援金額 1,200,000円 支援サービス事業所数 9施設 | コロナ禍における物価高騰の影響を受ける中、価格転嫁することも難しい事業者を支援することで、安定的な障害福祉サービスの提供に繋げることができた | R4.12 | R5.2 | 1,200,000 | 1,200,000 |
| 38 | 介護サービス施設等の原油価格・物価高騰対策事業 | コロナ禍の中で、物価高騰に伴い光熱費等に影響を受けている町内の介護サービス事業所等に対して高騰分を支援 | 町内の介護サービス施設等 | 支援金額 4,050,000円 支援サービス事業所数 34施設 | コロナ禍における物価高騰の影響を受ける中、価格転嫁することも難しい事業者を支援することで、安定的な介護サービスの提供に繋げることができた | R4.12 | R5.2 | 4,050,000 | 4,050,000 |
| 39 | 公共施設管理公社原油価格・物価高騰対策事業 | コロナ禍の中で、物価高騰に伴い光熱費等に影響を受けている公共施設管理公社に対して高騰分を補助 | 越前町公共施設管理公社 | 支援金額 13,946,000円 支援対象施設数 11施設 | コロナ禍における物価高騰の影響を受ける中、価格転嫁することも難しい事業者を支援することで、町内公共施設の安定的な管理運営を継続することができた | R5.2 | R5.3 | 13,946,000 | 13,946,000 |
| 40 | 学校給食費物価高騰対策事業(その2) | コロナ禍における物価高騰による給食原材料費の補正を行い、保護者の負担軽減を図る | 町内在住の小中学生 | 事業費 2,331,904円 町内小中学校 12校 | 値上がりした食材料費を補助することにより、保護者負担を求めることなく量と質を維持した給食を提供することができた。 | R4.12 | R5.3 | 2,331,904 | 2,000,000 |

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実績及び効果検証結果

| No | ①事業名 | ②事業概要 (目的・効果) | ③事業対象者 | ④事業実績 | ⑤効果・検証 | 事業 始期 | 事業 終期 | 総事業費 (円) | うち交付金 充当額 (円) |
|----|--------------------|--|-------------------------|--|---|----------|----------|-------------|---------------------|
| 41 | 学校給食費減免 事業（高騰分） | コロナ禍において、エネルギー・食料品等の物価高騰の影響を受けている子育て世代を支援するため、小中学校の第3学期分の給食費を減免し、保護者の経済的負担の軽減を図る | 町内在住の小中学生 | 給食費減免費用 18,897,363円 町内小中学生数 1,600人 | 町内在住小中学校生を持つ子育て世帯の家計負担の軽減が図られ、学校給食の量と質の安定供給につながった | R4.4 | R5.3 | 11,413,363 | 11,396,000 |
| 42 | AIチャットボット導入事業 | 越前町ホームページで利用できる人工知能型自動返信プログラム（AIチャットボット）を構築し、閉庁時間帯における問い合わせニーズに対応するとともに窓口来庁者の削減を図り、接触機会を減らすことで感染拡大防止を図る | 越前町 | R4.10月からサービスを開始 初期導入費用 5500円 月額使用料 93,500円×5ヶ月 | 遠隔かつ非対面で案内が受けられる環境を整備できた | R4.9 | R5.3 | 473,000 | 473,000 |
| 43 | 高校生通学定期 購入支援事業 | コロナ禍において、物価高騰の影響を受けている子育て世代を支援するため、高校生の通学定期の購入費を補助し、保護者の経済的負担の軽減を図る | バスまたは電車の定期券を購入した高校生の保護者 | 定期券購入価格から月額5千円を差し引いた額の8割を補助（町内丹生高校生は全額、町外丹生高校性は3割補助） 補助金額 29,738,000円 | 通学定期券費用を補助することで、コロナ禍における子育て世帯の生活を支援するとともに、公共交通機関の利用促進につながった | R4.4 | R5.3 | 29,738,000 | 19,781,000 |
| 44 | 公衆無線LAN環境 整備事業 | コロナ禍においてWEB会議や来庁者へのサービス向上など、新しい生活様式を目指すため、各コミュニティセンターの公衆無線LANネットワーク環境の整備を行う。また、同施設は避難施設でもあるため、災害時の避難情報収集のための通信環境を確保する。 | 越前町民 | 無線LAN設置施設 3施設 宮崎コミュニティセンター 越前コミュニティセンター 織田コミュニティセンター | 施設利用者の利便性の向上と職員の業務効率化が図られた | R5.2 | R5.3 | 3,003,000 | 3,003,000 |